

令和6年度

学校図書館サポーター養成講座(報告)

学校司書に**必要な知識等**について学び、**関係者同士のつながり**を

作ることのできる講座を開設し、**学校司書となり得る人材**を育成

第5次滋賀県子ども読書活動推進計画 (R6～R10年度) ～滋賀まるごと「こども としょかん」を目指して～

学校図書館の機能強化および取組の充実

子どもの読書環境を支えるひとづくり

【内容】～学校司書として最低限知っておくべき知識を得ていただく～
全7回(令和6年7月～令和7年1月) 各回10時～15時
会場:県庁、県立図書館、大津市立青山小学校

①学校図書館の基本・教職員との連携(7月)

②本の分類・並べ方、選書の実践(8月)

学校図書館や
図書整理の基礎知識

③学校図書館の学習センター機能、
学校図書館での調べ学習(9月)

④学校図書館の読書センター機能、
読書活動の実践(10月)

学習センター、
情報センター、
読書センター機能
とは?

⑤学校図書館の情報センター機能、
ICTの活用、読書バリアフリー(11月)

⑥児童・生徒理解、学校図書館づくり(12月)

実際の学校図書館
で実習しました

⑦著作権の基本、図書館活動における著作権(1月)

29名の方が
修了されました



ブックトークの
実習の様子(10月)

【動画配信】

受講生のほか学校司書や教員も聴講できるよう
講座の動画をオンデマンド限定配信

令和6年度

学校図書館サポーター養成講座(報告)

【受講生アンケートより】ご意見・ご感想(一部抜粋)

●講義内容について

- ・他の受講生との交流ができる内容はありがたい。グループでの話し合いは楽しかった。
- ・初めて聞く専門用語が多かったが、わかりやすくかみ砕いて講義していただきありがたかった。
- ・実際の教科書を使いながらの講義はとてもよかった。
- ・公立図書館とは違う学校図書館ならではの「児童・生徒理解」のことについてもっと学びたい。
- ・実際の現場(学校図書館)での話も伺いながらの講義で、大変リアルで心に響くものがあった。

●学校図書館業務について

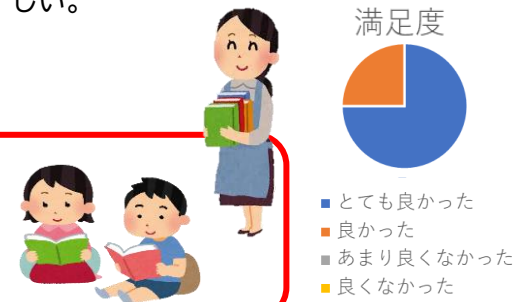
- ・学校図書館が児童・生徒にとって、「安心できる居場所」となるよう、学校司書の役割は大変重要だと感じた。
- ・学校司書が教育現場の一員として児童生徒へのかかわりの重要性も講義によって理解できた。
- ・学校図書で今現在働いていらっしゃる方がどんなことをしているのか、1日、1年間の仕事内容等も聞きたい。
- ・学校図書館の重要性や可能性について学ぶことができてよかった。

●運営等について

- ・実際に子どもが学校で取り組む内容に触れたことは良かったが、時間が足りなかった。
- ・オンデマンドは、のちに振り返ることができるのでありがたい。
- ・専門的な講義については、さらに理解を図るためにも、もっと講義時間を増やしてほしい。

【成果】

- ・講座内容は概ね満足との結果。
- ・多くの受講生が今後学校図書館で働きたいという意欲を示された。
- ・受講生同士のつながりができた。
- ・オンデマンド動画配信により学びの充実を図れた。



【来年度に向けて】滋賀まると「こども としょかん」を目指して

- ①主会場の変更 : 会場を毎年度変更し、受講者の地域的偏りがないよう配慮。
- ②市町との連携 : 県内ネットワークを活かして市町立図書館等を会場として検討。
- ③先進的取組の共有 : 学校図書館に係る県内、国内の先進的取組の紹介を検討。

